

| 項目 | 確認事項 | 届出内容 |
|-----------------------|---|---|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等) | 同志社女子大学 |
| | 大学等名1(代表大学等)※カナ | ドウシシャジョシダイガク |
| | 大学等名1(代表大学等)学校所在地 | 近畿地方(大阪府を除く) |
| | 大学等名1(代表大学等)学校種別 | 私立大学 |
| | 大学等名2(連携大学等) | |
| | 大学等名2(連携大学等)学校所在地 | |
| | 大学等名2(連携大学等)学校種別 | |
| | 科目名 | インターンシップ2(現代こども学科・こども産業) |
| | 学部・研究科等名 | 現代社会学部現代こども学科 |
| | 担当教職員名・役職 | 吉永 紀子 現代社会学部現代こども学科准教授 |
| | 受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数 | 5 |
| 受入企業等数 | 3 | |
| 受入企業等名 | (株)バンダイナムコアミューズメント、(株)ポーネルド、キッズプラザ大阪 | |
| インターンシップの分類 | 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 11.その他 | |
| 上記以外のインターンシップの分類(記述欄) | (株)バンダイナムコアミューズメントの企画開発担当者による指導を受け、バンダイナムコアミューズメント関連企業での業務体験並びに観察実習を行うとともに、近畿圏内のあそび場施設での観察実習も並行して実施する。 | |
| 要素① | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 | 1.はい |
| | 1-2.該当する就業体験 | 1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等) |
| | 1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄) | |
| | 1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | バンダイナムコアミューズメントのあそび場施設での業務体験を行ったうえで、企画開発担当者から指定された課題解決に向けた事例研究を行い、報告する。 |
| 要素② | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 | 1.はい |
| | 2-2.該当するインターンシップの内容 | 2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している |
| | 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄) | |
| | 2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄) | 3年次以上 |
| | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄) | 2単位 |
| | 2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 学科科目の「応用・各論科目」のなかに位置付けられている、「こども学の実践」の選択科目の1科目である。 |
| 要素③ | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい |
| | 3-2-1.該当する事前学習の内容 | 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している |
| | 3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄) | |
| | 3-2-2.該当する事後学習の内容 | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている |
| | 3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄) | |
| | 3-2-3.該当するモニタリング | 1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している |
| | 3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄) | |

| | | |
|--------|--|---|
| | 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄) | 授業期間中に、バンダイナムコアミューズメントの企画開発担当者によるあそび場施設の講義を受けるとともに、学内でもあそび場施設の事例調査の進め方等、指導している。 |
| | 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄) | 授業期間中に学習の成果を振り返り、整理した内容を最終報告会で発表している。 |
| | 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄) | |
| 要素④ | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。 | 1.はい |
| | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている |
| | 4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄) | |
| | 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 観察ならびに業務体験実習に関する実習日誌を振り返りとして記録し、課題解決に関するプロセスを最終レポートとして執筆している。 |
| 要素⑤ | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 | 1.はい |
| | 5-2.該当する実施期間 | 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している |
| | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄) | |
| | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) | こどものあそび場施設における観察ならびに業務体験実習として30時間以上、課題解決としての開発プロジェクトを10日以上 |
| | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) | こどものあそび場施設における観察ならびに業務体験実習として30時間以上 |
| | 5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄) | |
| | 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | バンダイナムコアミューズメント他、複数の店舗で観察・業務体験実習を行い、そこでの観察・業務体験を踏まえて得られた知見をもとに、課題となっている企画開発を行い、バンダイナムコ本社にて企画のプレゼンテーションを行う。 |
| 要素⑥ | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい |
| | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 | 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している |
| | 6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) | |
| | 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) | 大学での事後指導のあと、企画開発担当者から事後指導を受ける。観察・業務体験実習の最中にも適宜フィードバックを受けている。企画開発のプロセスでも開発担当者から指導助言を受け、最終報告会でも評価を受けている。 |
| | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL | https://kyomu-web.dwc.doshisha.ac.jp/cam3/top.do |
| 問い合わせ先 | 大学等名 | 同志社女子大学 |
| | 担当部署名 | 現代社会学部事務室 |
| | 担当者役職名 | |
| | 担当者氏名 | |
| | 電話番号 | 0774-65-8543 |
| | メールアドレス | gensha-t@dwc.doshisha.ac.jp |